



平成25年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年12月28日

上場会社名 株式会社きょくとう 上場取引所 大  
 コード番号 2300 URL http://www.ci-kyokuto.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧平 年廣  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長代理 (氏名) 川崎 昌之 (TEL) 092-503-0050  
 四半期報告書提出予定日 平成25年1月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第3四半期の業績(平成24年3月1日～平成24年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第3四半期	5,440	△0.3	382	△28.4	435	△24.6	222	△21.9
24年2月期第3四半期	5,455	△1.8	533	△3.9	577	△5.5	285	△9.7
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
25年2月期第3四半期	40.17		—					
24年2月期第3四半期	51.45		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第3四半期	5,241	3,646	69.6
24年2月期	4,979	3,486	70.0

(参考) 自己資本 25年2月期第3四半期 3,646百万円 24年2月期 3,486百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	5.50	—	5.50	11.00
25年2月期	—	5.50	—		
25年2月期(予想)				5.50	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	3.7	447	12.5	492	8.5	251	23.8	45.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年2月期3Q	5,551,230株	24年2月期	5,551,230株
② 期末自己株式数	25年2月期3Q	9,581株	24年2月期	9,590株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年2月期3Q	5,541,645株	24年2月期3Q	5,541,640株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、一部に回復の兆しが見られたものの、欧州財政危機に端を発した海外景気の減速や日中両国の関係悪化に伴う経済への影響、株式市場の低迷や長引く円高の国内景気への影響など、先行き不透明な状況が続いております。

当社におきましても、個人消費は生活防衛意識の高まりから一層低迷し、雇用・所得環境は厳しい状態が続いており、加えて原材料の高止まりによるコストの増加など厳しい経営環境で推移しました。

このような状況の中で、当社は、平成26年の創業50周年へ向けた経営革新3ヵ年計画の初年度として「NBM-12(ニュー・ビジネス・モデル2012)」の方針に基づいた取り組みを推進しました。

生産面においては、工場・プラントの女性班長を中心とした生産性アップの取り組みと新しい機械設備の積極的な導入を実施するなど、品質と生産性の向上に取り組みました。

営業面においては、工場・プラントの女性スタッフによる販促活動「I(愛)メール」や販促品などを活用した取り組みと、9月には「新規入会キャンペーン」を実施するなど、「お客様づくり」「売上づくり」に取り組みました。

加えて、エリアの拡大と生産の効率化を図るため、平成24年8月に久留米プラント(福岡県久留米市)、平成24年9月に伊都プラント(福岡市西区)、尾道プラント(広島県尾道市)、平成24年10月に板橋プラント(東京都板橋区)を開設しました。

また、新規出店は、当第3四半期累計期間において新たに30店舗を出店し、需要の拡大に努めました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は5,440,327千円と前年同四半期と比べ15,102千円(0.3%)の減収となりました。

利益につきましては、主に新規出店と新規プラントの開設に伴う費用の増加や、生産面における新しい機械設備の導入、営業面における販促活動の強化に伴う費用の増加により、営業利益は382,170千円と前年同四半期と比べ151,481千円(28.4%)の減益、経常利益は435,206千円と前年同四半期と比べ141,967千円(24.6%)の減益、四半期純利益は222,623千円と前年同四半期と比べ62,499千円(21.9%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて54,200千円増加し、2,104,386千円となりました。これは、売掛金が19,643千円、前払費用が14,825千円増加したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて207,658千円増加し、3,137,299千円となりました。これは、有形固定資産が191,134千円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて261,859千円増加し、5,241,685千円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて88,318千円増加し、991,649千円となりました。これは、未払金が48,662千円、ポイント引当金が17,102千円増加したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて13,972千円増加し、603,996千円となりました。これは、長期借入金16,673千円減少したものの、その他(リース債務)が31,548千円、資産除去債務が10,977千円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて102,290千円増加し、1,595,646千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて159,568千円増加し、3,646,039千円となりました。これは、利益剰余金が161,665千円増加したことなどによります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年2月期の業績予想につきましては、平成24年4月13日に発表した業績予想と同じであり、変更はありません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ① 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

#### ② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### ③ 繰延税金資産の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前事業年度において使用した将来の業績予測及びタックス・プランニングを利用する方法によっており、前事業年度以降に経営環境等に著しい変化があるか、または、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前事業年度末において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

#### ④ 税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### (3) 追加情報

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期会計期間 (平成24年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,813,404	1,820,501
売掛金	43,671	63,314
商品	20,190	28,240
原材料及び貯蔵品	18,145	19,765
前払費用	63,887	78,712
その他	90,886	93,852
流動資産合計	2,050,185	2,104,386
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	411,721	446,178
土地	1,713,051	1,801,845
その他（純額）	64,704	132,587
有形固定資産合計	2,189,477	2,380,612
無形固定資産		
のれん	3,500	875
その他	57,633	49,361
無形固定資産合計	61,133	50,236
投資その他の資産		
差入保証金	477,041	504,633
その他	201,988	201,817
投資その他の資産合計	679,030	706,450
固定資産合計	2,929,640	3,137,299
資産合計	4,979,826	5,241,685
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	32,053	44,934
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	144,368	147,120
未払金	297,817	346,480
未払法人税等	106,019	88,677
賞与引当金	40,583	48,609
役員賞与引当金	3,250	—
ポイント引当金	125,073	142,175
資産除去債務	140	215
その他	54,025	73,437
流動負債合計	903,331	991,649

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年 2 月29日)	当第 3 四半期会計期間 (平成24年11月30日)
<b>固定負債</b>		
長期借入金	186,882	170,209
退職給付引当金	110,855	106,895
役員退職慰労引当金	123,690	117,783
資産除去債務	85,085	96,063
その他	83,511	113,044
<b>固定負債合計</b>	<b>590,024</b>	<b>603,996</b>
負債合計	1,493,355	1,595,646
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	555,092	555,092
資本剰余金	395,966	395,966
利益剰余金	2,544,583	2,706,249
自己株式	△3,133	△3,130
<b>株主資本合計</b>	<b>3,492,508</b>	<b>3,654,177</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
<b>その他有価証券評価差額金</b>	<b>△6,037</b>	<b>△8,138</b>
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>△6,037</b>	<b>△8,138</b>
<b>純資産合計</b>	<b>3,486,470</b>	<b>3,646,039</b>
負債純資産合計	4,979,826	5,241,685



(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
売上高	5,455,429	5,440,327
売上原価	1,599,876	1,636,550
売上総利益	3,855,553	3,803,777
販売費及び一般管理費	3,321,901	3,421,606
営業利益	533,651	382,170
営業外収益		
受取利息	481	452
受取配当金	549	450
受取家賃	28,073	22,954
その他	23,264	33,651
営業外収益合計	52,368	57,508
営業外費用		
支払利息	5,462	3,656
その他	3,383	815
営業外費用合計	8,846	4,472
経常利益	577,174	435,206
特別損失		
固定資産売却損	556	21
固定資産除却損	5,840	21,276
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	55,794	—
その他	—	1,800
特別損失合計	62,191	23,097
税引前四半期純利益	514,982	412,108
法人税等	229,860	189,485
四半期純利益	285,122	222,623

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社は、ホームクリーニング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。